

医療法人社団

宇部中央病院

所在 〒755-0151 山口県宇部市大字西岐波750

UBE(株)の結核療養施設として1953年に開設以来、宇部市における市民病院的な役割を果たし、一般市民の利用が93%を占めています。「いつでもどこでも誰でも安心してかかる中央病院」を理念に地域の中核急性期病院として高度専門医療と24時間対応の救急医療を実践。平成26年10月より医療法人化し、地域医療支援病院の認定も取得しました。

募集人数 5名 **病床数** 374床
(令和9年度 採用予定人数)

待遇 給与1年目：520,000円/月
(日当直手当・時間外等込)
給与2年目：610,000円/月
(日当直手当・時間外等込)



研修プログラムの特徴

日常診療や日当直で頻繁に遭遇する疾患に対応できるように、プライマリ・ケアの基本的な診断能力(態度、技術、知識)の習得を目指します。2年目には文献検索、学会発表、屋根瓦式に研修医・学生さんへの指導も行ってもらいます。研修スケジュールは希望を聞いて調整しており適時変更も可能。小児科、産婦人科、精神科の研修は連携している山口大学医学部附属病院にて研修。

研修スケジュール例

1 年 目	内 24週	救 12週	外 4週	小 4週	産 4週	精 4週
	内…内科、救…救急部門、外…外科、小…小児科、産…産婦人科、精…精神科					
2 年 目	地 4週	一 4週	必修分野およびそれ以外の分野より選んで研修 43週			
	一…一般外来、地…地域医療					

関連病院 等

- ・ 山口大学医学部附属病院
- ・ 山口宇部医療センター
地域医療研修：
- ・ 薩摩川内市甕島手打診療所
(ドクターコトモデル診療所) ほか

主な勉強会

画像読影会(週1回)、
各部門、指導医によるレクチャー
(適宜)

指導医
(プログラム責任者) **井本 忍** 医師



[糖尿病・血液内科]

研修医 研修医2年目 [山口大学出身]
芳川 准一 医師



Q 当院の自慢は？

宇部山陽小野田地区の2次救急の半分以上を担当しており、緊急の検査、入院、治療(手術)ができる体制を整えています。スタッフも協力的なので速やかな診断、治療が可能で先生方の腕前が試されます。

Q 研修内容のセールスポイントは？

研修医数は1学年4-5名で症例や手技を十分に経験することができます。研修医向けのレクチャーが充実しており実臨床経験の幅を広げられます。大学病院連携の臨床教育センターを設置しており文献検索閲覧、Up To Dateなどのアクセスが容易です。

Q どんな指導を心掛けていますか？

問診、診察から検査、診断に至る過程を重視しエビデンスを交えて論理的に示しカルテにまとめられるように指導をしています。患者さんだけでなく、コメディカルとの連携と意思疎通(チーム医療)を大切に責任感を持たせ、プロフェッショナリズムを高めるようにしています。

Q 医学生へのメッセージ

まずは自分がどんな医者になりたいかを考えて、希望を満たす病院を探してください。学生さん・研修医は積極的にフットワーク軽く行動したくさん学んでください。働きやすい当院に是非一度見学に来てください。

Q 当院を研修先として選んだ理由は？

学生の頃の実習でお世話になりました。総合診療科の指導体制が整っており、非常に熱心な指導が受けられそうだと感じたため当院を選択しました。

Q この病院を選んでよかったこと

救急外来で内科系も外科系も両方初期対応することができます。また、上級医やコメディカルなどをはじめ、職員の方々が非常に優しく接しやすいです。総合診療科だけでなく、各科でしっかりと医療を学ぶことができます。そして福利厚生も充実していると思います。

Q 研修で最も身につけられたことは？

静脈路確保や用手的換気、動脈血採血、CV挿入、胸腔穿刺、気管挿管といった幅広い基本的な手技や輸液、抗菌薬などの具体的な薬剤選択と容量調整について。そして入院～退院までのおおまかな仕事の流れ、カルテの書き方など。

Q 研修の特色はどこに感じる？

救急外来で特に脳血管障害(麻痺やめまい、意識障害など)によく遭遇します。研修医室が広く、電子カルテが充実しています。

お問い合わせ先

担当部署：経営管理部 | 担当者：下藤 | 電話：0836-51-9286
Eメール：ube-kenshu@ube-hp.or.jp